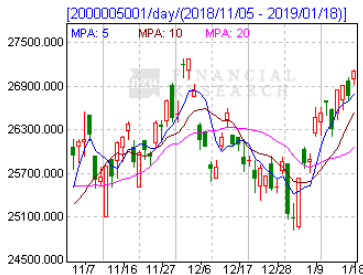


中国株ウイークリーレポート

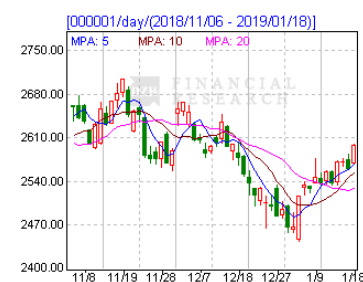
2019/1/21

【指数日足チャート】

▼ハンセン指数



▼上海総合指数



【主要株価指数】

	週末終値	前日比	変化率 (%)	週間騰落率 (%)	年初来騰落率 (%)	18年末株価
NYダウ	24,706.35	336.25	1.38	2.96	5.91	23,327.46
NASDAQ	7,157.23	72.77	1.03	2.66	7.87	6,635.28
日経225	20,666.07	263.80	1.29	1.50	3.25	20,014.77
上海総合	2,596.01	36.37	1.42	1.65	4.09	2,493.90
滬深300 (CSI300)	3,168.17	56.76	1.82	2.37	5.23	3,010.65
ハンセン	27,090.81	335.18	1.25	1.59	4.82	25,845.70
中国企業	10,636.97	124.82	1.19	1.74	5.06	10,124.75

【株式概況】

先週の動き:ハンセン指数は1.6%高と3週続伸、上海総合指数は1.7%高

香港市場ではハンセン指数が週間で1.6%高と3週続伸した。中国の貿易統計の悪化を受けて週初の14日は7日ぶりに反落したが、その後は米中通商摩擦の改善期待を背景におおむね堅調に推移。月末に貿易問題を巡る米中の閣僚級協議が開かれることが決まり、週末18日には終値で27000ポイント台に乗せた。本土市場では上海総合指数が週間で1.7%高と3週続伸した。週初は貿易統計の悪化を嫌気した売りが出たが、その後は中国政府による景気対策や相場対策への期待を背景に持ち直す展開となった。

今週の展望:香港市場はしっかりの展開か、中国の景気対策期待が継続

香港市場はしっかりの展開が見込まれる。引き続き中国政府による景気対策期待が続いているほか、米中貿易摩擦の緩和期待も相場を支える要因となりそうだ。30-31日の米中交渉に向けて米中両国から交渉進展に向けた新たな譲歩案が報じられる可能性があり、米中対立激化への警戒感が後退しそうだ。本土市場も景気対策期待を背景にしっかりの展開が見込まれる。米中通商交渉を前に新たな譲歩案などが出来れば米中対立の緩和期待が相場の押し上げ材料となる。今週から始まる期末決算の発表にも注目が集まりそうだ。

先週のハンセン騰落ランキング

▼騰落率上位

	週末終値 (HK\$)	騰落率 (%)
1 中国生物製薬(01177)	6.46	18.53
2 吉利汽車(00175)	12.26	10.45
3 中国人寿保険(02628)	19.10	9.64
4 石業集団(01093)	13.10	8.62
5 瑞声科技(02018)	48.20	4.33
6 舜宇光学科技(02382)	71.65	4.22
7 AIAグループ(01299)	69.90	3.86
8 太古A(00019)	90.70	3.78
9 碧桂園(02007)	9.71	3.74
10 中国平安保険(02318)	71.85	3.31

▼騰落率下位

	週末終値 (HK\$)	騰落率 (%)
1 中国中信(00267)	11.88	-4.19
2 華潤電力控股(00836)	15.40	-2.90
3 信和置業(00083)	14.22	-2.07
4 長江実業地産(01113)	63.45	-1.01
5 電能実業(00006)	54.30	-0.64
6 Link REIT(00823)	79.35	-0.50
7 中電控股(00002)	90.55	-0.49
8 ハンセン銀行(00011)	174.30	-0.40
9 華潤置地(01109)	31.15	-0.32
10 ヘトフイ付(00857)	5.05	-0.20

▼今週の主なイベント

- 1月21日(月) 【米国】キング牧師生誕記念日で休場
- 1月22日(火) 【国際】ダボス会議(25日まで)
- 1月24日(木) 【香港】貿易統計(12月)

▼今週の期待材料

- ◆30-31日に米中の閣僚級通商交渉を開催、米中双方から新たな譲歩案が出てくれば交渉進展期待が高まる公算
- ◆中国人民銀行が先週の公開市場操作で差し引き1兆1600億元の資金を供給、週間供給額として過去最大に
- ◆中国政府が景気下支えに向けた経済対策を本格化、景気対策への期待が高まれば相場の押し上げ要因に

▼今週の懸念材料

- ◆21日発表の中国の10-12月GDP成長率が前期から0.1ポイント低下の6.4%に、景気の先行き懸念強まる
- ◆21日に英国のEU離脱代替案の議会への提出期限、英国のEU離脱を巡る混乱が深まる公算
- ◆米政府機関の閉鎖が過去最長に、米経済や米企業の業績への影響に警戒感が広がる可能性も

【今週の材料銘柄】 ☆…ポジティブ ★…ネガティブ ◇…中立

- ☆ 四川高速道路(00107): 12月の傘下7高速道路の通行料収入が13%増加
- ☆ 北控水務集団(00371): 中国長江三峡集団と資本・業務提携で合意
- ☆ チャイナ・ユニコム(00762): 12月の4G加入純増数が前月比で68%増加
- ☆ チャイナ・モバイル(00941): 12月の4G加入純増数が前月比で97%増加
- ☆ 慧聰集団(02280): 18年12月本決算は売上高が170%超増加の見通し
- ☆ 中国建材(03323): 18年12月本決算は販売価格上昇で大幅増益の見通し
- ◇ 中広核鉱業(01164): ウラン貿易商社の買収を完了、ウラン調達ルートを多様化
- ★ 華能国際電力(00902): 10-12月の国内発電量が3.5%増に減速、18年は9%増
- ★ 五鉱資源(01208): 18年12月本決算は純利益半減の見通し、下期の貿易低迷が響く
- ★ 海通証券(06837): 18年12月本決算の速報値は取引減少で純利益が39.5%減

本レポートは、株式会社 DZH フィナンシャルリサーチ（以下、「DZH」と称します）により作成されたものです。

本レポートは、DZH が信頼できると判断した各種データ、公開情報に基づいて作成しておりますが、DZH はその正確性、完全性を保証するものではありません。

ここに示したすべての内容は、DZH で入手しえた資料に基づく現時点での判断を示しているに過ぎません。

DZH は、本レポート中の情報を合理的な範囲で更新するようにはしておりますが、法令上の理由などにより、これができない場合があります。

本レポートは、お客様への情報提供のみを目的としたものであり、特定の金融商品の売買あるいは特定の金融商品取引の勧誘を目的としたものではありません。

また、本レポートによる情報提供は、投資等に関するアドバイスを含んでおりません。

本レポートにおいて言及されている投資やサービスは、個々のお客様の特定の投資目的、財務状況、もしくは要望を考慮したものではありませんので、個々のお客様に適切なものであるとは限りません。

本レポートで直接あるいは間接に取り上げられている金融商品は、株価の変動や、発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化、金利・為替の変動などにより投資元本を割り込むリスクがありますが、DZH は一切その責任を負いません。

DZH は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。

DZH およびグループ会社は、本レポートの論旨と一致しないレポートを発行している場合があります。また今後そのようなレポートを発行する場合があります。

DZH、グループ会社およびその役職員は、本レポートに記載された金融商品について、ポジションを保有している場合があります。

本レポートでインターネットのアドレス等を記載している場合がありますが、DZH 自身のアドレスが記載されている場合を除き、ウェブサイト等の内容について DZH は一切責任を負いません。

本レポートの利用に際しては、お客様ご自身でリスク等についてご判断くださいますようお願い申し上げます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則平 14.1.25」に基づく告知事項>

本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。